

2020年09月16日

【格付維持】

日立金属

発行体格付： A+ 【格付の方向性：安定的】

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

高機能製品を得意とする金属材料メーカーで、日立製作所（証券コード:6501、発行体格付=AA-）の連結子会社。上場会社で経営の独立性が強いことなどを踏まえ、格付は日立金属自体の収益基盤・財務基盤の評価を反映している。

優れた材料開発力・技術力を生かし、ニッチ市場で競争力のある製品を数多く有する。特殊鋼製品、素形材製品、磁性材料・パワーエレクトロニクス、電線材料を手掛け、需要先業界や展開地域からみた分散が効いている。

2019年以降、中国市場の急激な需要減の影響を受け、特殊鋼製品、磁性材料、電線材料が利益を落としている。素形材製品は米鋳物子会社Waupaca Foundryと排気系耐熱鋳造部品の低迷が続く。これに新型コロナウイルス感染拡大の影響が自動車関連製品中心に重くのしかかる。2019年度に続き、2020年度も120億円の最終赤字になる見通しだ。

収益力・キャッシュフロー創出力は格付対比で低い水準にあるものの、債務償還年数や資本負債構成は良好だ。近年、生産設備やM&A（合併・買収）で高水準の投資が続いたが、既存投資の収益化を重視し、投資を抑制する方針に転じている。磁石事業の立て直し、固定費の削減や低収益事業の売却など様々な施策に取り組み、早期の業績回復と資本効率の向上に努めている。財務基盤は強固であり、まだ、利益の回復を待つ余裕はある。

【格付対象】

発行者：日立金属（証券コード：5486）

| 名称 | 格付 | 格付の方向性 |
|-------|--------|--------|
| 発行体格付 | A+（維持） | 安定的 |

| 名称 | 発行予定額 (億円) | 発行予定期間 | 予備格付 |
|----------|---------------|-------------------------|--------|
| 発行登録（社債） | 1,000 | 2019年01月06日～2021年01月05日 | A+（維持） |

| 名称 | 発行総額 (億円) | 発行日 | 償還日 | 格付 |
|-----------|--------------|-------------|-------------|--------|
| 第31回無担保社債 | 150 | 2018年12月06日 | 2023年12月06日 | A+（維持） |
| 第32回無担保社債 | 150 | 2018年12月06日 | 2025年12月05日 | A+（維持） |
| 第33回無担保社債 | 100 | 2018年12月06日 | 2028年12月06日 | A+（維持） |

☆ 予備格付は、個別債務の最終的な条件が決定されていない段階で予備的な信用格付が必要となる場合に、付与する評価です。個別債務の最終的な契約内容等によっては、予備格付とは異なる信用格付が付されることがあります。

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先：経営企画室（広報担当） TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

| | |
|----------------------------|--|
| 信用格付業者 登録番号 | 株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。 |
| 主任格付アナリスト | 後藤 潤 |
| 信用格付の付与について 代表して責任を有する者 | 住田 直伸 |

| | |
|---|--|
| 信用格付を付与した日 | 2020年09月16日 |
| 主要な格付方法 | 事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2018.05.31] 電炉（普通鋼・特殊鋼） [2019.07.18] 電線 [2020.02.18] 親会社と子会社の格付の考え方 [2017.12.13] |
| 上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html | |
| 評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html | |
| 格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html | |
| 格付関係者 | 日立金属 |
| 注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。 | |
| 利用した主要な情報 品質確保のための措置 情報提供者 | 決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。 格付関係者 |
| 信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。 利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まるとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。 | |

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当)

TEL. 03-6273-7471
TEL. 03-6273-7273

E-mail infodept@r-i.co.jp

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。